

合同研究発表会
日本エネルギー学会関西支部 第58回研究発表会
石油学会関西支部 第22回研究発表会

- 日 時：2013年12月6日（金）9：30～19：50
- 会 場：近畿大学東大阪キャンパス（東大阪市小若江3-4-1）
<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/higashi-osaka.html>
B館10階マルチメディア会議室（M会場）およびブラッサムカフェ3階多目的ホール（B会場）
- 交 通：近鉄大阪線「長瀬駅」徒歩15分、または、近鉄奈良線「八戸ノ里」徒歩20分あるいはバス6分

プログラム

（口頭発表は討論7分・質疑応答3分、ポスタープレビューは2分；○印は発表者）

【開会の辞】（9：30～9：35）（M会場）

【研究発表】（9：35～10：15）（M会場）

1. 水素貯蔵技術への応用を目的としたギ酸分解反応における高活性Pd触媒の開発
（大阪大院工）○堂城昌宏，森 浩亮，山下弘巳
2. 遷移金属触媒を用いたダブルベンズアミノレーション反応を利用した2,2'-ピナフチル誘導体の効率的合成
（関西大化学生命工学）○田畑博雅，梅田 壘，西山 豊，戸部義人
3. バナジウム錯体触媒存在下，水を反応場とする大気下でのアルコール類のグリーン酸化反応の開発
（阪府大院工）○東浦祐樹，圓井邦昌，野元昭宏，植島陸男，小川昭弥
4. 3,7-二置換ベンゾ[1,2-b:4,5-b']ジチオフェン誘導体の合成と物性
（大阪大院工）○南 創二郎，平野康次，佐藤哲也，三浦雅博

【研究発表】（10：20～11：00）（M会場）

5. ホルムアミド還元法によるパラジウム微粒子の合成とその触媒反応への利用
（関西大化学生命工学）○矢野敬規，川崎英也，大洞康嗣
6. 銅ヒドリドを触媒活性種とする二酸化炭素を用いたアレンのカルボキシル化反応
（京都大院工）○久我一成，谷 洋介，藤原哲晶，寺尾 潤，辻 康之
7. カーボン系固体酸触媒を用いたセルロースからのグルコース生成
（関西大環境都市工）○宇野健太郎，池永直樹
8. Co修飾β型ゼオライト触媒を用いたBaeyer-Villiger酸化反応
（神戸大院工）○猪原弘泰，内藤真人，谷屋啓太，市橋祐一，西山 寛

【特別講演】（11：05～11：55）（M会場）

「ナノ多孔体を利用するシングルサイト光触媒・金属ナノ触媒の設計」

山下弘巳氏（大阪大学大学院工学研究科 教授）

【ポスタープレビュー】（12：00～12：40）（M会場）

＜休憩＞（12：40～13：40）

【ポスター発表】（13：40～14：40）（B会場）

- P01. ロジウム触媒を用いるチオフェンおよびフランカルボン酸の直接アルケニル化反応
（大阪大院工）○飯塚智紀，平野康次，佐藤哲也，三浦雅博
- P02. ルテニウム触媒を用いる芳香族アミン類とアルキンの直接カップリング反応
（大阪大院工）○鈴木智晴，平野康次，佐藤哲也，三浦雅博
- P03. NbCl₅を用いたオレフィンとニトリルとの反応：第二級アミドの単純な合成法
（関西大院理工）○安田 馨，大洞康嗣
- P04. パラジウム錯体触媒を用いた複素環式化合物と単純オレフィンの酸化的カップリング反応
（関西大院理工）○溝邊友晃，朝比奈 章，大洞康嗣
- P05. Cu系触媒を用いたエタノール脱水素反応によるアセトアルデヒド合成
（関西大院理工）○大平将寛，佐野 誠，鈴木俊光，三宅孝典
- P06. 酸化チタン（IV）光触媒を用いたスルホキシドの脱酸素反応によるスルフィドの合成
（近畿大院総合理工）○中西康介，山本悟史，今村和也，橋本圭司，古南 博
- P07. 可視光応答型光触媒によるスルフィドの酸化反応
（近畿大院総合理工）○西野ゆり，田中淳皓，橋本圭司，古南 博

- P08. マイクロリアクターを用いたカルボニルリチウム種の発生とその親電子剤による捕捉
(大阪大院工) ○六車 智, 北裏剛士, 柳川裕介, 岩崎孝紀, 国安 均, 神戸宣明
- P09. Au 局在表面プラズモン共鳴による高活性な Pd 触媒の開発
(大阪大院工) ○高倉修平, 福 康二郎, 亀川 孝, 森 浩亮, 山下弘巳
- P10. スルホカリックスアレーンリンカーを用いる可視光応答型光触媒の設計とその水素生成反応への応用
(大阪大院工) ○松浦幸代, 亀川 孝, 山下弘巳
- P11. V 錯体内包 Y ゼオライト触媒を用いたフェノール合成反応における配位子の影響
(神戸大院工) ○桶本篤史, 井上賀貴, 谷屋啓太, 市橋祐一, 西山 覚
- P12. アンモニア燃料電池車両の研究開発 第 1 報: アンモニアの危険性を考慮した車両設計について
(工学院大院) ○大川 歩, 長澤 拓, 山本和宜, 雑賀 高
- P13. アンモニア燃料電池車両の研究開発 第 2 報: 車載用残留アンモニア回収方法について
(工学院大院) ○山本和宜, 長澤 拓, 大川 歩, 雑賀 高
- P14. パラジウム担持酸化チタンによるテトラヒドロキノリン系の可逆的脱水素-水素化反応
(近畿大院総合理工) ○勢戸那央子, 今村和也, 橋本圭司, 古南 博
- P15. 酸化チタン光触媒による水中含窒素無機廃液の浄化
(近畿大院総合理工) ○木津井 健, 橋本圭司, 古南 博
- P16. 溶剤処理および熱分解処理を施した低品位炭の低温酸化挙動
(京大院工) ○藤墳大裕, 蘆田隆一, 河瀬元明, 三浦孝一
- P17. 穏和な溶剤処理により改質した低品位炭, バイオマス廃棄物からの炭素繊維製造
(京大院工) ○奥田賢史郎, Li Xian, 蘆田隆一, 河瀬元明, 三浦孝一
(JGSEE) Janewit Wannapeera, Nakorn Worasuwannarak
- P18. CdS/TiO₂ 光触媒と可視光を利用した芳香族アルコールとニトロベンゼンからのワンポットイミン合成
(大工大工) ○仲井雄太, 東本慎也, 東 正志, 大植弘義
- P19. CdS/Pt/TiO₂ 光触媒上での可視光照射下での芳香族アルコールまたはグリセリン溶液からの水素生成反応
(大工大工) ○勝浦健太, 東本慎也, 東 正志, 大植弘義

【研究発表】(14:50 ~ 15:40) (M 会場)

9. 光誘起電子移動 反応で生ずる炭素およびヘテロ原子架橋型テトラメチレンエタン中間体の電子特性
(阪府大院工, 阪府大分子エレクトロニックデバイス研) ○榊将太郎, 狩野 佑介, 堀 智博, 太田英輔, 池田 浩
10. Pd/Xantphos 触媒存在下, CsF/Arl/18-crown-6 を用いたアレン類のアリアルルフ素化反応
(大阪大院工) ○若狭崇志, 国安 均, 真川敦嗣, 岩 孝紀, 神戸宣明
11. パラジウム担持酸化チタン (IV) 光触媒によるニトリルの還元反応
(近畿大理工) ○今村和也, 吉川孝之, 中西康介, 橋本圭司, 古南 博
12. セレン触媒存在下, γ -ニトロプロタノン誘導体と一酸化炭素の反応による多置換ピロール誘導体合成
(関西大化学生命工) ○増野 司, 梅田 墨, 西山 豊
13. コアシェル型触媒によるワンポット酸化反応の高効率化
(大阪大院工) ○王生翔平, 岡田周祐, 亀川 孝, 森 浩亮, 山下弘巳

【研究発表】(15:45 ~ 16:25) (M 会場)

14. イリジウム錯体を触媒に用いたメチルキノリンのアルキル化反応およびカルバゾールのビニル化反応
(関西大化学生命工) ○小川真司, 山本信行, 大洞康嗣
15. ペルフルオロアルキルホスフィン配位子を利用した Cu-free 菌頭クロスカップリング反応
(阪府大院工) ○南田賢明, 川口真一, 小川昭弥
16. ニッケル触媒存在下二酸化炭素を炭素源とした脂肪族内部アルキンのダブルカルボキシル化反応
(京都大院工) ○溝江大我, 堀本裕一郎, 藤原哲晶, 寺尾 潤, 辻 康之
17. MPV 還元反応に用いる耐水性触媒中に修飾したイオン液体の溶出挙動
(神戸大院工) ○岩本美紀子, 澤本恵子, 谷屋啓太, 市橋祐一, 西山 覚

【研究発表】(16:30 ~ 17:10) (M 会場)

18. フェライトナノ粒子表面へのアミン修飾による重金属吸着剤の開発
(京大院工) ○藤野将伏, 中川浩行
19. 金の表面プラズモン共鳴と金属酸化物のバンドギャップを利用した光触媒の水素および酸素生成反応
(近畿大院総合理工) ○田中淳皓, 橋本圭司, 古南 博
20. アルキルチオ基を導入したジ (2-チエニル) ケトン誘導体の蛍光特性と結晶構造
(阪府大院工, 阪府大分子エレクトロニックデバイス研) ○富依勇佑, 太田英輔, 水野一彦, 池田 浩
21. 大気圧プラズマを用いた室温での VOC の酸化分解
(京大院工) ○中川浩行, 望月翔平

【特別講演】(17:15～18:05) (M会場)

「我が国のエネルギー事情と技術者の役割」

請川孝治氏 ((独)産業技術総合研究所 特別顧問)

【閉会の辞】(18:05～18:10)

【懇親会】(18:20～19:50) (B会場)

◆参加申込要領◆

(1)申込締切：2013年11月25日(月)

(2)参加費：会員・共催団体会員 5,000円，非会員 10,000円，学生 2,000円 (いずれも要旨集代，懇親会費を含む)

(3)払込方法：当日，会場にて申し受けます。

(4)申込方法：①氏名，②会員・非会員・学生の別，③所属，④連絡先(所属先の所在地，TEL，FAX，E-mailアドレス)をご記入のうえ，電子メールにて下記宛にお申し込みください。メールの標題に「第58回研究発表会参加申込」とお書き下さい。

(5)申込先：〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部応用化学科 古南 博

TEL：06-4307-3452 E-mail：hiro@apch.kindai.ac.jp